

令和5年度の重点課題

○男女共に、「握力」「長座体前屈」の結果が、県・全国の平均値よりも低かった。基本的な筋力・柔軟性に課題がある。

○男子において、「ハンドボール投げ」の記録が平均値よりも低い。投動作がぎこちない生徒も多数見受けられ、投げる動きの経験が少ないことが課題として見えた。また、巧緻性に課題がある。

○1年生では、女子の運動をすることに対する否定的な回答が、53%あった。

○3年生では、女子の運動をすることに対する否定的な回答が、17%あった。

上記の課題を受けて具体的に
取り組んだ事項

○「握力」…各領域で、主運動につながる運動の中に、筋力アップのための運動を取り入れる。特に、握力の力を向上させるために、「つかむ」「にぎる」動作も取り入れる。屋外の授業の際には、設置してある鉄棒を使って、サーキットトレーニング等にも取り組む。

○「長座体前屈」…毎時間の準備運動のメニューに組み込む。継続して行う。

○「ハンドボール投げ」…投動作を積極的に取り入れる。遊びの中で、楽しみながら投げる経験を増やすようにする。例えば、ドッジボールや昔遊びを取り入れる。

○個々の能力に応じた場の工夫を行い、自分なりの目標を設定して、自分で課題を解決していけるような授業展開の工夫を行う。

○部活動と連携し、学校全体で体力向上に努める。

○登下校を生かし、毎日の通学がどれほど運動に効果があるか意識させ、自転車通学が体力向上の一環であることに気付かせる。

○定期的に生徒の実態調査を行い、「楽しい」と感じる理由や、「楽しくない」と感じる理由を調査し、授業改善や、運動への関わり方へのアドバイスを行う。

令和6年度新体力テストの結果 県平均値(令和5年度)・全国平均値(令和4年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第2学年	32.90	28.30	39.60	45.30	84.10		7.35	193.40	25.40	45.10	第2学年	22.92	23.08	38.54	46.46	44.23		8.92	168.77	13.23	46.46

県平均値かつ全国平均値未満

令和6年度新体力テストの結果 県平均値(令和6年度)・全国平均値(令和5年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第2学年	32.90	28.30	39.60	45.30	84.10		7.35	193.40	25.40	45.10	第2学年	22.92	23.08	38.54	46.46	44.23		8.92	168.77	13.23	46.46

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第2学年	86.84	13.16	0.00	0.00	第2学年	59.09	40.91	0.00	0.00

学校独自の意識調査

1年	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	3年	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
男子	66%	25%	8%	0%	男子	87%	6%	6%	0%
女子	41%	29%	23%	5%	女子	57%	42%	0%	0%

「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」

重点課題

情意面での課題

○1年生では、女子の運動をすることに対する否定的な回答が、28%あった。

体力面での課題

○男女共に、「長座体前屈」「反復横跳び」「立ち幅跳び」の結果が、県・全国の平均値よりも低かった。柔軟性や瞬発性に課題がある。

○投動作がぎこちない生徒も多数見受けられ、投げる動きの経験が少ないことが課題として見える。巧緻性に課題がある。

○女子においては、体力合計点が県・全国の平均値よりも低かった。

令和7年度の
重点目標値

男女共、「長座体前屈」「反復横跳び」「立ち幅跳び」の県平均・前年度全国平均を上回るようにする。

○「長座体前屈」…体育の授業で、準備運動の中に柔軟運動を取り入れる。

○「反復横跳び」…鬼ごっこなどの瞬発力が必要な遊びや、昔遊び等を授業の中に取り入れる。

○「立ち幅跳び」…「跳」の運動を意図的にトレーニングに仕組む。また、定期的に立ち幅跳びの計測を行い、正しい跳び方を身に付けさせる。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

○「長座体前屈」…毎時間の準備運動のメニューに組み込む。継続して行う。

○「反復横跳び」…授業の始まりに鬼ごっこ等を行い、瞬発性が向上する運動を楽しみながら行う。

○「立ち幅跳び」…定期的に立ち幅跳びの計測を行い、個々で課題意識を持たせ、記録向上につながる運動を見つけさせる。

○「ハンドボール投げ」…投動作を積極的に取り入れる。遊びの中で、楽しみながら投げる経験を増やすようにする。例えば、ドッジボールや昔遊びを取り入れる。

○個々の能力に応じた場の工夫を行い、自分なりの目標を設定して、自分で課題を解決していけるような授業展開の工夫を行う。

体育の授業以外で行う取組内容

○部活動と連携し、学校全体で体力向上に努める。

○登下校を生かし、毎日の通学がどれほど運動に効果があるか意識させ、自転車通学が体力向上の一環であることに気付かせる。

○定期的に生徒の実態調査を行い、「楽しい」と感じる理由や「楽しくない」と感じる理由を調査し、授業改善や、運動への関わり方へのアドバイスを行う。